

令和7年度第2回情報選定専門委員会からの報告

	題 名	主な情報源の種類	情報収集の視点			④検討に見合う情報があるか(量・質)	⑤評価委員会での検討の必要性があるか	⑥緊急な情報提供の必要性があるか	判定結果	検討の方向性
			①健康被害の未然防止	②危害の拡大防止	③正しい情報提供					
1	食品添加物の正しい理解のための情報発信	都政モニターアンケート 消費者庁調査	○1名 △1名 ×3名	○1名 △1名 ×3名	○5名	○	○	○	○	食品添加物の役割やメリットを分かりやすく伝えていく必要があるため、その発信内容や手法等について評価委員会での検討議題とする。

○:該当する △:どちらともいえない ×:該当しない